

ISO/IEC JTC1/SC37 : バイオメトリクス 状況報告

2020年6月18日(木)
SC37国内委員長 新崎 卓
(富士通研究所)

- タイトル : Biometrics (バイオメトリクス)
- スcope : 生体認証に関する一般的な技術の標準化
- 設立 : 2002年
- 議長 : Patrick J. Grother (米 NIST)
- Committee Manager : Michaela Miller (米 ANSI)
- 幹事国 : 米国 (事務局ANSI)
- WG数 : 6
- Pメンバー : 28ヶ国
主要参加国 : 独、米、仏、西、日、英、豪
- Oメンバー : 20
- 出版規格数 : 131
- 開発中規格数 : 31

- アプリケーションとシステム間の相互運用性とデータ交換をサポートするための、人間に関する一般的な生体認証技術の標準化。
- 一般的な生体認証技術には、共通ファイルフレームワーク、生体認証アプリケーションプログラミングインターフェイス、生体認証データ交換フォーマット、関連する生体認証プロファイル、評価基準の生体認証技術への適用、パフォーマンスのテストとレポートの方法論、および社会的課題が含まれている
- ISO/IEC JTC 1/SC 17で行われている生体技術をカードおよび個人識別に適用する規格開発はスコープから除外される
- ISO/IEC JTC 1/SC 27で行われているバイOMETリックデータ保護技術、バイOMETリックセキュリティテスト、評価および評価方法論に関する規格開発はスコープから除外される

ISO/IEC JTC 1/SC 37の活動

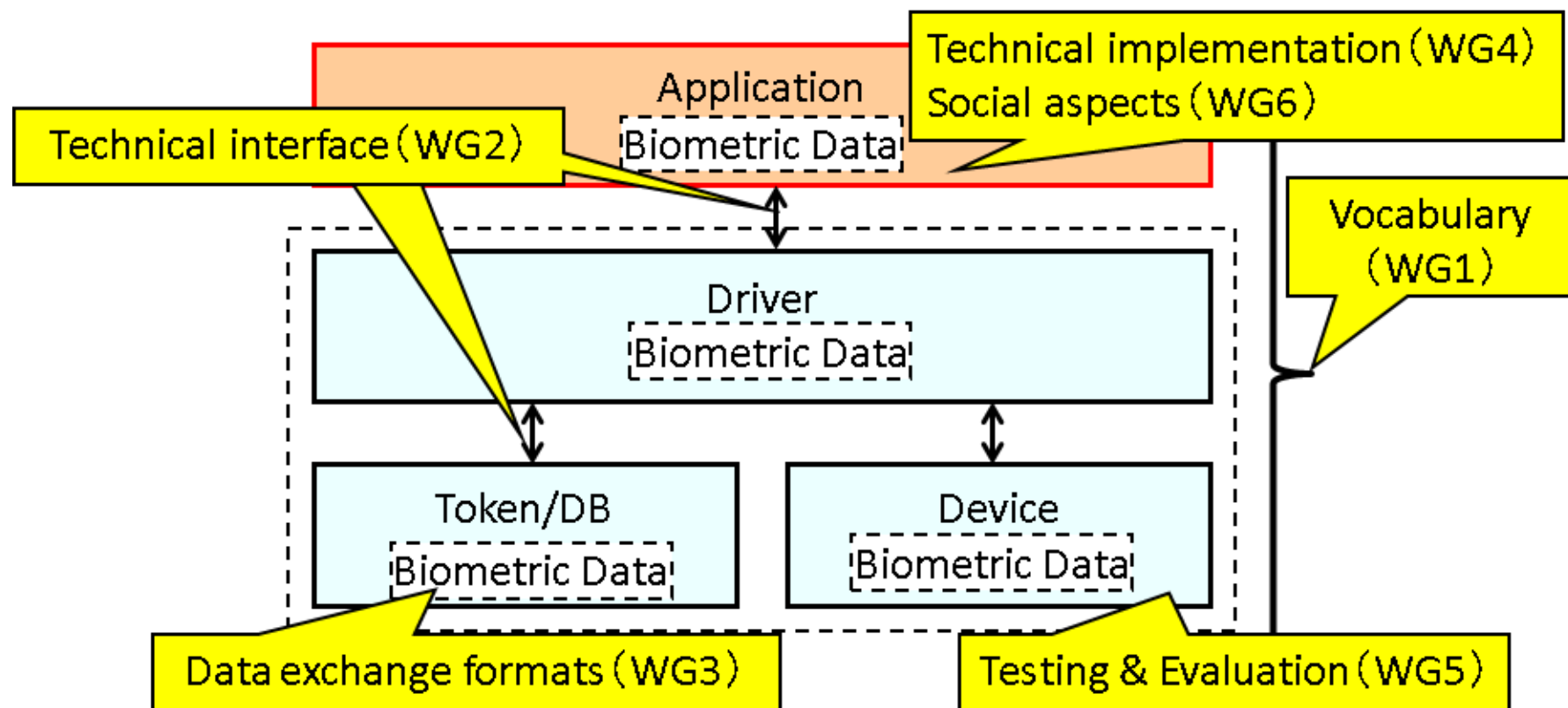
■ 活動目的：生体認証に関する一般的な技術の標準化

- 国際議長（Patrick J. Grother，米：NIST），
- Committee Manager（Michaela Miller，米：ANSI）
- 国内委員長：新崎 卓（富士通研究所）
- 国内幹事：日間賀 充寿（日立製作所）

タイトル	内容	国際主査	国内主査
WG1 Harmonized biometric vocabulary	技術用語	Steve Clarke (オーストラリア)	山田茂史 (富士通研)
WG2 Biometric technical interfaces	標準API, ファイル フォーマット	Young-Bin Kwon (韓国)	菊池健史 (日立ソリューション)
WG3 Biometric data interchange formats	データ交換フォーマット	Christoph Busch (ドイツ)	坂本静生 (NEC)
WG4 Technical Implementation of Biometric Systems	導入, 運用仕様	Greg Cannon (米国)	山田朝彦 (産総研)
WG5 Biometric testing and reporting	性能試験	Ambika Suman (英国)	山田茂史 (富士通研)
WG6 Cross-Jurisdictional and Societal Aspects of Biometrics	社会的課題	Mario Savastano (イタリア)	山田朝彦 (産総研)

SC 37のスコープと組織構成

アプリケーション及びシステムにおける相互運用とデータ交換のための、人間に関する一般的なバイオメトリクス技術の標準化



■ SC 37へのリエゾン委員

- IEC: TC 3/SC 3C
- ISO : SC 6、SC17、SC 27、SC 35、SC38、SC42、**TC 68/SC 2**、TC 272、TC 292、TC 307

■ SC 37からのリエゾン委員

- IEC: TC 3/SC 3C、TC 79
- ISO: JTC 1、SC 17、SC 27、SC 31、SC 42、**TC 68/SC 8（新規）**、TC 272、TC 307

■ 他のリエゾン（ISO、IEC以外）

- カテゴリーA : FIDOアライアンス、IBIA-Biometrics、ITU
- カテゴリーC : FRONTEx、OASIS、VoiceXML

■ 総会年1回（通常は1月）

- 2021年1月 シンガポール

■ WG年2回（通常は1月と7月）

- 2020年7月 WG（Virtual会議）
- 2021年1月 シンガポール

■ 第三世代の拡張可能なデータ交換フォーマット

- 現在、電子旅券等で用いられている、19794シリーズに代わる次世代のフォーマットで、後方互換性と将来互換性をサポート
- ISO/IEC 39794-1：フレームワーク、39794-4:指紋画像データ、39794-5:顔画像データを発行済み、39794-6:虹彩画像はDIS投票中で今年中には発行の見込み
- 39794-2:指紋特徴点(WD)、日本主導の39794-9:静脈画像（CD）のプロジェクトも進行中
- ISO/IEC 19794-5、ISO/IEC 39794-5の顔画像データフォーマットは身分証明書用顔写真に引用されている
- ISO/TC68/SC08/WG07で進行中のISO 24366 Natural Persons Identifier（CD投票中）の顔画像、生体情報フォーマットとしても活用される見込み（リエゾンとしてSC37の活動を説明、データフォーマットの活用を提案）

最近のトピックス（2）

■ 生体認証の認証性能テスト方法の改版

- ISO/IEC 19795-1がDIS投票を終え、今年中には発行の見込み
- 1対N（1対多）認証の評価方法を増強
- 19795-2、19795-3も対応して改版プロジェクト開始の見込み

■ モバイルデバイス向けのテスト方法が発行

- ISO/IEC TS 19795-9として発行された、ガイドライン（TS）の位置づけ

■ 新しい認証性能推定方法が日本提案によりプロジェクト開始

- 生体認証の性能向上が進み、従来の統計方式では大量データ（1万人以上）が必要になっているケースも出ている（1人データあたり数千円-1万円のコスト）
- 必要データ量が少なく低コストで実現できる認証性能テスト方法を経産省プロジェクトで開発、日本からNP提案し国際投票で可決、新規プロジェクトを開始

■ 生体認証の認証性能と人種等の関係の評価

- 19795-10として、複数の人口統計的属性グループ(地域)にわたる生体認証システムの性能変動の定量化に関する規格を米国NISTがNP提案して投票中
- 主に想定しているのは顔認証、可決されれば新規プロジェクトとして進む

■ 顔認証関連の規格

- 生体認証用（目視含む）の顔画像品質に関する**複数軸の指標で表すIS標準**を目的としてISO/IEC TR 29794-5の改版プロジェクトのNP投票中
- 自動照合用の顔画像の品質を**一軸の指標で表すことを目的**としてISO/IEC 24357の規格開発プロジェクトが進行中（現在WD）
- 自動照合用の顔画像を適切に採取する仕組みの仕様を規定するISO/IEC 24358の規格開発プロジェクトが進行中（現在WD）
- ウォークスルー生体認証を入退出システムに適用する場合のガイダンス文書のN提案がフランスから行われ、現在投票中

最近のトピックス（４）

■ 偽造攻撃検知技術のテスト方法の改版

- テスト方法を規定するISO/IEC 30107-3の改版プロジェクトが進行中
- テスト手順、評価者の役割分担の明確化等を目的としている
- 30107-3はFIDOアライアンスのBiometric Component Certificationに引用されている

■ モバイル向けの偽造攻撃検知技術のテスト方法プロファイル

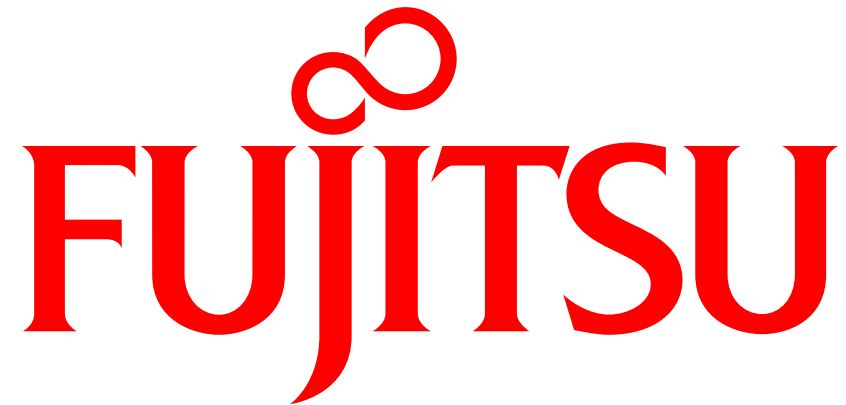
- ISO/IEC 30107-4として今年発行された
- 30107-3を引用しているため30107-3改版の発行に伴い、30107-4も改版される見込み

■ SC 27で生体認証のセキュリティに関わるプロジェクトが進行中

- ISO/IEC 19989シリーズ：生体認証システムのセキュリティ評価のプロジェクトが進行中、生体認証システムのISO 15408認定を取得する際に参照
- ISO/IEC 24745：生体情報保護に関する規格プロジェクトが進行中、FISCガイドラインに記載されている取り消し可能なバイオメトリクスも扱う
- ISO/IEC 27553：モバイルデバイス上での生体認証のためのセキュリティガイドラインのプロジェクトが進行中

■ 質問等がありましたら下記にお願い致します

- 新崎 卓 (shinzaki@fujitsu.com)



shaping tomorrow with you